

「近江八幡市脱炭素ビジョン2050」にかかる経過報告

1. ビジョン策定の経過

令和5年度に、計3回の近江八幡市脱炭素推進協議会を開催し、脱炭素ビジョンの構成・内容等について協議を行い、その後、パブリックコメントを実施した上で、令和6年4月に市長決裁をもって策定した。

(参考)市ホームページリンク

<https://www.city.omihachiman.lg.jp/soshiki/kikaku/1/2/27680.html>

※委員の皆さまには、ビジョン策定の旨、令和6年4月末に通知を行っています。

2. 今後の方向性にかかる整理

- 脱炭素ビジョンに定める施策（別紙「脱炭素プロジェクト一覧表」）について、様々な主体との連携のもと推進する必要がある。
- 行政として、重点プロジェクトに掲げる施策（太陽光発電の導入、ゾーニング、電動車の活用推進など）について、各所属との協議・調整を行い、施策が推進できるよう合意形成を図っていく。
- また、バイオマスエネルギーの利活用や地域新電力事業など、規模が大きな取組については、調査・研究を進めながら、本市での導入に向けて検討を進めていく。
- 令和6年度以降、本市として重点的に進めたい取組としては、脱炭素ビジョンの柱Dにも掲げる、「脱炭素人材の発掘と育成」である。
- 各主体において、脱炭素ビジョンに掲げる取組を進めるためには、核となるキーパーソンを発掘、育成することが重要である。
- このことから、2030年を目途に、資料2のとおり脱炭素人材の育成に向けた各種事業を展開し、人々の意識・行動変容を目指し、本市として地域脱炭素に取り組む機運醸成を図る。

3. 脱炭素ビジョンに関わる取組について（情報提供）

- 脱炭素推進省エネ家電製品買換え支援事業補助金
- 近江八幡市住宅用再生可能エネルギー導入補助金
- その他、脱炭素に関わる取組について